

# 【週刊タバコの正体】

Vol.30 第1話～第3話

2015/01 和歌山工業高校 奥田恭久

## ■Vol. 30

### (No. 411) 第1話 成人の喫煙状況

一若者のタバコ離れはさらに加速する...

新年あけましておめでとうございます。平成27年(2015年)がスタートしました。年号は新しくなりましたが、君たちにとっては学年の締めくくりとなる最後の学期を迎えたわけで、新しい年度はこの3学期を乗り切ってからでしかやってきません。気持ちを締めつけて頑張ってください。

さて、下のグラフを見てください。ある会社が全国の成人の喫煙状況を調査した結果です。女性の喫煙率は8.9%、男性は21.3%となっていますが、注目すべきは「喫煙したことはない」という右側の部分です。

### (No. 412) 第2話 タバコの火の始末

一火のついたタバコは火事の大きな原因...

「火のないところに煙は立たない」という言葉を聞いたことがありますか。煙が上がっていると言う事は何か燃えている証拠なのです。つまり、タバコの煙と火は切っても切り離せない関係です。

タバコの煙は人々の健康や命にまで悪影響を与えることは、多くの人がよく知っていることですが、実はタバコの「火」も社会や人々に大きな損害や被害を与えることがあります。

タバコの火は火事の原因となるからです。

### (No. 413) 第3話 勤務時間中禁煙

一まだ「勤務時間中禁煙」がニュースになる...

現在、成人の喫煙率は男女合わせて約20%です。つまり多くの大人はタバコを吸いません。そんな現状もあって、下表に示すように多くの職場は建物内禁煙や敷地内禁煙となっていて、少なくとも決められた喫煙場所ではタバコを吸えない分煙状態となっているのが普通だと思われま

す。そんな中つい最近、下のような記事が発表されました。建物内や敷地内だけではなく、「勤務時間中、全面禁煙」とした会社のニュースです。「勤務時間中禁煙」なので、出張や外出中も喫煙を禁止するというものです。

\*\*\*\*\*

#### 勤務時間中は全面禁煙＝出張や外出先でもーリコー

時事通信 1月7日(水)21時0分配信

事務機大手のリコーは7日、国内のグループ会社で勤務時間中、全面禁煙にしたと発表した。定時の就業中であれば社内だけでなく出張や外出先でも禁止する。他人のタバコの煙を吸う受動喫煙を防ぎ、社員の健康に配慮するため。

本社や工場など国内全ての事業所で勤務する正社員約3万7000人に加え、契約社員やパートタイマーも対象。これまであった喫煙所を敷地内から撤廃した。禁煙支援のため、同社は補助薬の購入や治療に必要な費用を半額補助する制度を設けている。

職場以外に出張や外出先でも社員に禁煙を求める会社は数少ないという。半導体製造のロームが1998年から同様の規則を定めている。



新年あけましておめでとうございます。平成27年(2015年)がスタートしました。年号は新しくなりましたが、君たちにとっては学年の締めくくりとなる最後の学期を迎えたわけで、新しい年度はこの3学期を乗り切ってからでしかやってきません。気持ちを締めつけて頑張ってください。

さて、下のグラフを見てください。ある会社が全国の成人の喫煙状況を調査した結果です。女性の喫煙率は8.9%、男性は21.3%となっていますが、注目すべきは「喫煙したことはない」という右側の部分です。



女性についてはどの年代も80%前後となっていますが、男性は年代によってかなりの差があります。60代以上の男性の「喫煙したことはない」は29%なのに対して、若くなるほど増え20代は75.5%にもなっています。つまり、20代の大半の人はタバコを全く吸った事がないのです。

そして、もうひとつ「過去に喫煙していた」項目についても20代が7.5%に対して、年代が上がるほど増えて60代以上では51%にもなっているのです。60代以上では二人に一人が禁煙しているわけです。こう見ると、若い人ほど初めからタバコを吸わなくなり、年をとると禁煙した人が多くなっているのがわかります。

タバコを必要とする人は確実に減少しています。この傾向は今年も、そして今後も続くことでしょう。



「火のないところに煙は立たない」という言葉を聞いたことがありますか。煙が上がっていると言う事は何か燃えている証拠なのです。つまり、タバコの煙と火は切っても切り離せない関係です。

タバコの煙は人々の健康や命にまで悪影響を与えることは、多くの人がよく知っていることですが、実はタバコの「火」も社会や人々に大きな損害や被害を与えることがあります。

タバコの火は火事の原因となるからです。

#### 出火原因 全火災48,095件の内訳



#### 平成25年(1月～12月)における 火災の状況(確定値)

グラフの右側にタバコの火は出火原因の2位で10%近くも占めています。一見消えたように見えても、完全に消えていないタバコの火は、右の映像のように1～2時間後に燃え始めます。

非常に怖いですね。そして、喫煙者はタバコの火の始末を確実に行う重大な責任を背負わなければならないと思いませんか。こんなリスクを冒してまでタバコを吸う必要はありませんよね。

産業デザイン科 奥田 恭久



毎週火曜日発行



URL: [http://www.jascs.jp/truth\\_of\\_tabacco/truth\\_of\\_tabacco\\_2011.html](http://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_2011.html)

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。  
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。  
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

